

知って得する **健康** ニ **知識**

動画サイトYouTubeで動画配信しています！

当院ホームページよりご覧いただけます。

動画はこちらから



島根県立中央病院 > 病院のご案内 > 広報 > 動画ギャラリー

<https://www.spch.izumo.shimane.jp/hospital/pr/VideoGallery.html>

7月のテーマは…



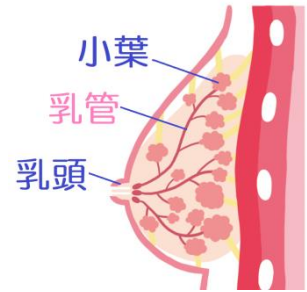
知っておきたい 乳がんのこと

～自分と家族を守るために～

講師 乳腺科部長 橋本 幸直

Q1. 乳がんってどんな病気？

乳がんは、ミルクを作る小葉から乳首までミルクを運ぶ乳管といわれる部分から発生する病気です。



乳がんは他のがんに比べて40代後半から60代前半と比較的若い人・時期に発症する病気です。(図1)

乳がんの患者数は年々増加しています。(図2)

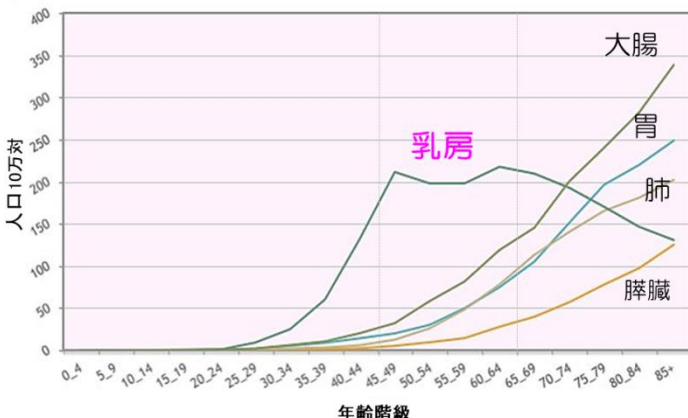
50年前は日本人女性の50人に1人でしたが、現在は11人に1人が乳がんになっています。

これは、女性ホルモンとの関係が原因のひとつと考えられています。

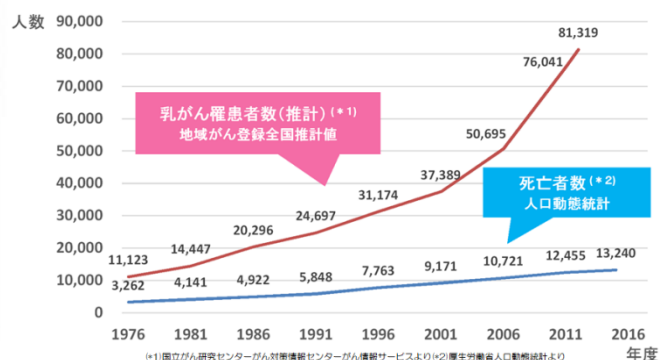
現代人は初潮年齢が早く閉経年齢が遅くなり、さらに出産回数が少なくなっているため、女性ホルモンの影響を受ける期間が長くなっているためと思われます。

将来的に8人に1人が乳がんになるのではといわれています。

がん罹患率の年齢による変化(図1)



乳がん罹患患者数・死亡者数の推移(図2)



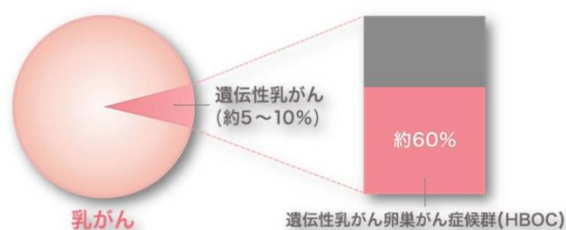
Q 2. どんな人が乳がんになりやすいの？

乳がんのリスク因子は学問的には多岐にわたりますが、一般的なものとして、

- ・高齢での出産
- ・出産や授乳経験がない
- ・遺伝的な乳がん（全体の5～10%）（図3）
- ・アルコール摂取や肥満といった生活習慣

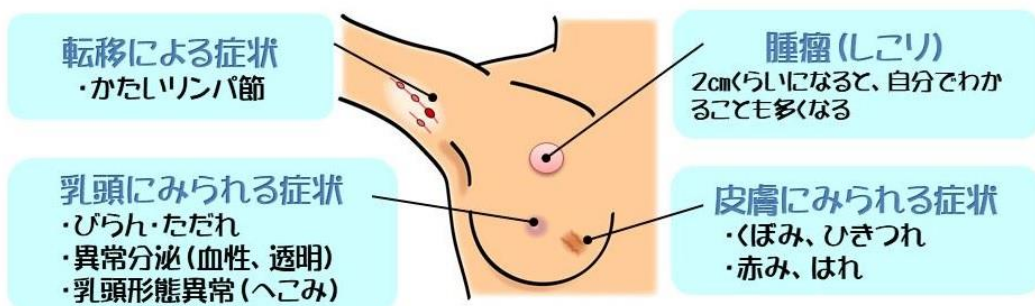
などがあります。特に閉経後の肥満は注意が必要です。

遺伝性の乳がん(図3)



※家系内（親、子、兄弟姉妹）に乳がん患者さんがいる場合は一般の人に比べ、2倍以上リスクが高まります。

Q 3. 乳がんの初期症状は？



監修: 乳がん医療情報コンサルタント プレストサービス社 宮内充(乳がん学会認定専門医)

Q 4. 乳がん検診について

乳がんは、非常に早期で根治が期待できる「非浸潤がん」で診断されるのが20%で、残りの80%は「浸潤がん」の状態です。浸潤がんであっても早期に診断されるほど根治性は高まります。

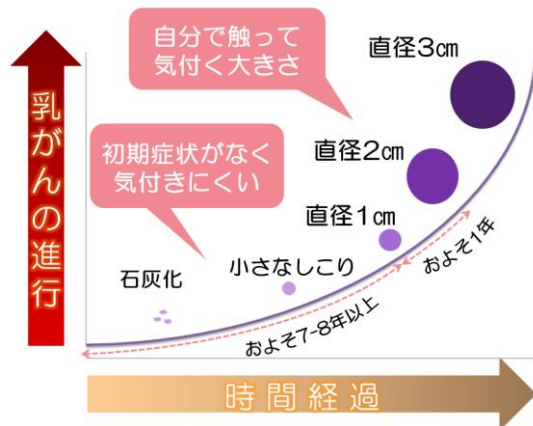
諸外国の乳がん検診受診率は70～80%ですが、日本の全国平均は40%台と非常に低い受診率です。検診受診率が上がることによって乳がん死亡率が減少すると言われており、乳がん検診受診率をもっともっと上げて早期発見することが重要です。

乳がんは、直径1cm程度の「しこり」になるまで、およそ7～8年以上必要です。（図4）

定期的に検診を受けて、「しこり」が自分で触って気付く2cm程度になる前の段階で乳がんを発見し、早期診断・早期治療を行えば根治が可能な時代です。

乳がんには負けないために、症状がなくても定期的に乳がん検診を受けましょう。

乳がんの進行経過(図4)



お知らせ

当院では、出雲市の乳がん検診（40歳以上・予約制・一部自己負担）と個人乳がん検診（予約制・自費診療）を行っています。ご希望の方は予約窓口までご連絡ください。

【乳がん検診予約窓口】

島根県立中央病院 入退院支援・地域医療連携センター

予約受付時間 平日8:30～17:00

電話 0853-30-6500